



学校だより

第6号

上尾の児

埼玉県立上尾特別支援学校

平成30年1月10日



「新しい年に」

校長 野口 馨

新年、あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに平成30年の新春をお迎えることとお喜び申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

これからの時期は、各学年とも一年間のまとめの時期になります。また、卒業学年の子どもたち、保護者の皆様方には、卒業に向けての様々な取り組みが行われることと思います。教職員一同、一日一日を大切にしながら、教育活動を進めてまいりたいと思います。

さて、ある新聞のエッセイ欄に、中学生の一人息子を持つ父親の話がありました。何かにつけて扱いづらい中学生の息子。ご多分に漏れず反抗しどおしで、ほとんど手を焼いた父親は、ある夜息子をこっぴどく叱った。どうして親の気持ちをわかってくれないのか、素直になってくれないのか…。ついに息子に手をあげてしまった。すると、息子は猛然と抗議に出た。父親の体罰をなじり、ふだんの口うるささに自分がいかに苦しめられているかを訴えた。

「文句ばかり言うなよ！俺、生まれて初めて中学生やってるんだぞ!」、啞然・呆然とした父親は、次の瞬間、思わず「うるさい！お父さんだって、今のおまえを育てるのは生まれて初めてなんだ。」すると、息子もきよとんとした顔になった。ぽかんと抜けたような沈黙がしばらく流れた。そして二人は、どちらからともなくホッとしたように笑いだした、というものです。

親も子どもも、いや誰にとっても「生まれて初めて」の日々を生きています。人生そのものが「生まれて初めて」の連続です。子育てにしろ何にしろ「良い方法」を見つけれないで、不安であったり思い悩むことは、実は普通のことなのかもしれません。

今年の干支の戌年は、今まで積み上げてきたことを、さらに新しい始まりに向け準備を整える年とか、犬のイメージから安産や愛情深さを思わせる年といわれます。「生まれて初めて」の者同士、不安がらずに肩の力を抜いて笑顔で過ごすことがよいのではないのでしょうか。♪笑顔を贈れば笑顔が返るよ♪ 戌(犬)年には地に足を着けてしっかり踏ん張って、今できることを積み重ね、次の準備に向かいたいと思います。

平成29年4月に新しい学習指導要領が告示され、育成を目指す資質・能力が示されました。本校も平成32年度の実施に向けた準備を進めてまいります。引き続き保護者の皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



小学部6年生 修学旅行

11/30～12/1 と6年生は修学旅行で東京方面へ。2日間とも雨の予報でしたが、皆の祈りが通じ一度も雨に降られることなく修学旅行を満喫できました。

(1日目)上尾駅から特急に乗り、上野・東京と乗り継いでディズニーランドへ。現地は空いており、スターツアーズなど計8つのアトラクションを堪能しました。機械や暗がりなど、不安もありましたが、子どもたちは最初から最後まで共に行動し、活動できました。

(2日目)は葛西臨海水族園からスタート。大水槽で悠々と泳ぐマグロを観察。今年度は、エイや鮫に触れる体験にも初挑戦しました。子ども達は興味津々で何度も手を伸ばして触っていました。大観覧車にも皆乗れました。辺りを色々見回しながら絶景の大パノラマを楽しめました。

まだまだここには書ききれない思い出が盛り沢山ですが、2日間の貴重な体験を得て、6年生の皆はまた一つ成長できました。ご協力頂いたご家族の方々、先生方、本当にありがとうございました。



高等部 マラソン大会

マラソン大会に向けた健康観察や会場での応援等、ご協力有難うございました。当日は天候にも恵まれ絶好のマラソン日和となりました。生徒93名(5km83名、3km10名)途中リタイアすることなく、無事完走を果たすことができました。皆よく頑張ってくれたと思います。上尾運動公園が改修工事ということもあり、今年は初めて川越運動公園での実施となりました。バスでの移動や、タイトな時間設定ではありましたが、生徒もよく動いてくれました。帰りのバスでは走りつかれた生徒も多く、寝ている生徒もちらほら。本当にお疲れ様でした。今年度も残すところ3ヶ月となりました。マラソン練習で得た体力を活かして、元気に学校生活を送りましょう！

